

新基地建設反対名護共同センターニュース

違法工事は直ちに中止せよ！と抗議

海上保安庁は過剰警備やめ、防衛省の違法を取り締め、抗議船5隻で抗議
集中行動日にカヌー30艇

ヘリ基地反対協は「海上集中行動日」の第3土曜日の19日、朝6時過ぎからカヌー30艇、抗議船5隻を繰り出し、護岸工事現場付近で抗議行動を展開しました。

K4護岸工事現場（写真下）では、碎石をダンプカーから落とし、護岸を固め延ばす工事を繰り返してました。辺野古側K3とK4護岸は、あと300mほどでつながりそうです。

しかし、大浦湾側には、活断層や軟弱地盤など難題が横たわり防衛局は八方ふさがり状態です。抗議船とカヌーから「知事の許可のない違法工事は直ちに中止せよ」、「海上保安庁は過剰警備を止め、防衛省をこそ取り締めよ」と抗議を繰り返しました。



「あ！ウミガメだ。アジサシだ」

この日抗議船平和丸からは、辺野古の海でウミガメや渡り鳥のアジサシを見ることができました。また1羽ほどのカジキマグロが海面から飛び跳ねるのも確認しました。「こんな美ら海をつぶすのは許せない！しかし、新基地建設阻止はこれからでもできる」との思いが一層募りました。

19日のゲート前 日本ペンクラブの代表迎え150人



19日のゲート前では県内各地から島ぐるみ会議のバスなどで150人が結集。20日から宜野湾市で開かれる日本ペンクラブの「平和のつどい」の参加者25人がテント村で整列し代表が挨拶。稲嶺前名護市長などが歓迎のあいさつを行い連帯しました。



稲嶺前市長が本土で講演行脚

稲嶺進前名護市長は、毎週のように本土から招かれ各地で講演の行脚を続けています。5月12日には、日本平和委員会などが主催、基地のない沖縄をめざす会が協賛し都内の「稲嶺前市長との交流のつどい」で講演。つどいには300人参加。

稲嶺氏は市長選支援へのお礼を述べ、新基地建設阻止まで絶対あきらめないと表明。最後に参加者とカチャーシーで交流しました。



辺野古新基地の闘いを学習

愛知県の安保実委と平和委員会

愛知県の安保破棄実行委員会と平和委員会は15日、名古屋市内で名護共同センターの早坂義郎氏を招き、「辺野古新基地建設のたたかいの展望」について学習会を共催、50人が参加しました。参加者から「おじい、おばあなどのたたかいに涙があふれるほど感動しました」との感想が出されました。集会では、共同センターへカンパも寄せられました。

